

＜会員及び執筆者各位＞

「漫画文化」第1号の発行について 〔第2報〕

平成20年11月29日
國學院大學漫画文化研究会

前回お知らせした「漫画文化」第1号の発行についての情報に基づき、発行計画を進めたところ、以下の通りの進展とそれに伴う調整の必要がありましたので計画の一部の修正を加えてお知らせいたします。なお、今後の「漫画文化」に関する情報は、公式サイト「会員向け情報」のページに設置します「『漫画文化』の発行について」のページにてご確認願います。

1. 編集日程

- 12月 **10日(水)** 〆切日A 例会時（※1日前倒しになりました）
- 12月17日(水) 〆切日Aにご提出いただいた会員の校正日
〆切日B 例会時（会員最終〆切日）→校正はHP上にて実施
- 12月19日(金) ゲスト投稿者〆切日 →校正の方法については検討中（要相談）
- 12月22日(月) 原稿編集作業
- 1月7日 (水) 印刷所へ入稿
- 1月13日～16日の週には発行予定

※ゲスト投稿者との協議の結果、年内中に原稿を募集し、年明けすぐの発行に変更しました。

※印刷所が12月21日～1月6日まで休業のため、この期間に校正及び編集作業を行います。可能な限りこの期間の前までにはご提出ください。

※会員についてはA Bの〆切日があります。Bの場合は、当日に編集と校正を実施する場合があります。

2. 執筆者（2008年12月29日現在）

- 会 員：3名（3投稿：1人1投稿予定）※投稿数を変更する場合は連絡願います
- 客員会員：1名（1投稿：1人1投稿予定）※「談話室」を担当
- ゲ ス ト：1名（1投稿：1人1投稿確定）※会員と同じ容量で作成
- ※ゲスト投稿者については、現在も募集中です。

3. ページの体裁と文字数（一般ページ）

雑誌ページにはテンプレートの間に「本文（記事は読む）」をいれます

】…吾妻ひでお『失踪日記』編

行数18行

○ ○ ○

「吾妻ひでお『失踪日記』論——「私マンガ」というジャンルへの疑問——

四角算数

1ページ目にはタイトル部分（4行分）が入ります。

だいたい最近では寒くなってきました。今日なんて、祝日なのに「授業数確保」を理由にうちの大学は通常通り授業。世の中が「通常」じゃないのに、うちだけ「通常」って…わけわからんよ。まあ、ほとんどの講義が休講になってしまったけどね。だいたい、祝日を増やす行政を行っていきながら、教育行政はそれに合わない状態（更新されない）というのがおかしいじゃない。日本のお役所仕事は、本当に横の連絡がとれてないよな。（僕自身は、六時からの研究会に顔を出す関係と、論文を書かねばならないので、図書館で論文を書きましたという前置きは、まったくどうでもいい僕の日記です。ちよつとブレイクタイムってことで。いままさ、『失踪日記』かよという感じですが、自分では遅れている人間なので「名作」「佳作」「というものは

も、あとからゆつくり読んでます。この『失踪日記』は、二〇〇五年の文化庁メディア芸術祭のマンガ部門大賞を受賞した他、第三十四回日本漫画家協会賞大賞、第十回手塚治虫文化賞マンガ大賞という三冠を達成した作品。（帯によれば、三冠は史上初らしいですと）

タイトルからわかるとおり、作者吾妻ひでおが、俗世（現実）から逃避して路上（別世界）で生活を送る様を、フィクションを装って記録的につくり上げた作品。これから路上生活をしてみたい方には、ある意味教科書になるのでは（？）というような作品です。

この作品は「私マンガ」というジャンルに属する。それはすでに新しいジャンルではないが、多くのそうした作品がどうしても「エッセイマンガ」になることが多いのに対し

文字数（全角）26字

1ページの文字数は、全角で936字です。2000字だと、だいたい2と1/2ページくらいになりますので、雑誌の制作上、これまでのお願いから変更しまして、一人の最低限字数を上記の体裁（雑誌ページ数）で3ページ（2500～2800字）に変更します。なお、上記のページ体裁はWORD形式のデータを「会員向け情報」で配布しております。

※【談話室】のページ体裁は異なります。

4. 原稿作成に関わるお願い

1) 基本的には、縦書きの文章のルールで執筆してください。その他は以下の通り。

カギカッコ	カギカッコの使用は次の通りとする。 「 」：作品名、論文名あるいは引用文の表示 『 』：文中における書名、誌（紙）名の表示に用いる。 ※ “ ”・‘ ’ は原則使用不可。
数字	固有名詞及び特別な理由がない場合、数字はすべて漢数字とする。
外国固有名詞	文中初出の人名は、必要に応じてフルネームを片仮名書きし、その後に（ ）で原綴りを付記する。地名等も同じ。
引用文献	○雑誌の場合 著者名、「論文（記事）名」、『雑誌名』、発行所、第○巻第○号、発行年、頁（コマ数） ○図書の場合 著者名、『書名』、（巻数）、発行所、発行年、頁（コマ数） ○インターネットからの引用の場合 運営サイト名と記事名、URL（アドレス）、情報取得日

2) 必ず主題と副題を付けてください。ご協力をお願いします。

3) 氏名は本名・フルネーム。旧字の使用の場合などは、特に原稿提出の際にお知らせください。

4) 漢字表記については、原則新字の使用とします（特に想いが有る場合は別）。また仮名遣いについては、引用についてのみ歴史的仮名遣いはそのまま引用してください。本文では歴史的仮名遣いは認めません。

5. 原稿の提出

原稿の提出は、Eメールでのデータ入稿をお願いします。また、使用する図版資料については、当該資料を複写したものを提出してください。また、その資料の裏に、引用について明記してください。

以 上